

Cure and Care
communication

第105号

C&C コミュニケーション

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1
Tel.082-923-8333(代) <http://www.pia-gr.or.jp/>

医療法人ピーアイエー

ナカムラ病院
介護医療院 びる
介護老人保健施設 まい
グループホーム つばい

社会福祉法人 双樹会

特別養護老人ホーム

陽光の家

通所介護事業所
居宅介護支援事業所

介護保険制度開始から二十年

介護保険制度が始まって四月で二十年を迎えます。制度開始以前は、介護は家族、特に女性が行うものとされてきました。それが介護保険制度により、高齢者介護を個人から社会全体で支えるものと変容させました。また以前のように行政が行う一律のサービスではなく、必要なサービスを自由に選べるようになりました。介護サービスを自由に選ぶことをスムーズに行うために、ケアマネジャーという新しい国家資格を有する職業ができました。介護保険制度スタート前に、私は、日本医師会常任理事の高杉敬先生の元ケアマネジャー育成研修をしたことを思い出します。

〈介護保険変遷〉介護保険制度スタート時介護保険はあってもサービスなしと揶揄されてきました。しかし、その後社会福祉法人だけでなく民間企業も介護サービス事業に参加して介護事業所が着実に増加し、介護サービス提供が加速しました。サービスも多様化して施設、居宅サービスだけでなく

く二〇〇六年からは訪問、泊まり、通いができる小規模多機能施設などの地域密着型サービスもできました。介護が必要な高齢者の生活を支える、介護の社会化が起きました。利用者はスタート時一四九万人から十九年には四八七万人と三倍に、介護保険の費用も二十年前の三倍、十一兆七千億円となりました。介護保険は三年ごとに改正が行われました。当初一律だった自己負担を所得に応じて一〜三割に引き上げられました。また十五年から特別養護老人ホーム入所は原則要介護三以上とされました。要支援一〜二の訪問・通所介護を介護保険から切り離し市町村のサービスとなりました。

〈課題・対応〉介護保険制度の問題点・課題は、介護費用の膨大化、介護現場での人手不足、医療介護の連携、生活支援、認知症対応、介護予防、健康づくり推進があります。介護費用の膨大化に対し、前述しましたとおり保険料、自己負担の引き上げが行われました。それにより介護サービス控え、

適正なサービスが受けられないことがあります。また、介護現場の人手不足も深刻です。二十五年には四十〜五十万人の介護職員の不足が予測されています。当院も介護者不足の対応としてベトナムの技能実習生の受け入れをしています。介護予防、健康づくり推進が介護保険から切り離されました。介護予防や健康づくりと介護は一体とならなくてはいけないと考えています。当院は介護医療院の地域貢献としてその隙間を補えるように活動していきたいと考えています。介護の介護保険は走りながら考えると言う方針でスタートしました。課題を分析し対応していくことを繰り返してきました。今後、介護の必要性が高くなる八十五歳以上の人口増加、高齢者独居、高齢夫婦、認知症の人の増加のため、介護サービスの増加・多様化が見込まれます。住み慣れた地域で安心して生活できるよう医療・介護・予防・住まいが切れ目なく提供される地域包括ケアシステムが構築され、年齢社会を実現できるように、介護保険制度が改正されることを望みます。

介護医療院 ひいろ

院長 塚野 健

風景画 (模写)

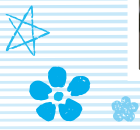
この後は水彩絵の具で仕上げ…
納得のいく作品が出来るまで試行錯誤をくり返します。



作品介绍

— 認知症治療病棟編 —

当院では、日々患者さまが工夫をこらして作品作りをされており、素敵な作品がたくさん生まれています。ここではその一部を紹介したいと思います。



細かいところが難しいね



うれしい雨あがり♪



くるくる毛糸を巻いて…



こんなに可愛いのが出来る
と思わなかった。飼い犬の
コロちゃんを思い出す。
みんなに可愛がってもらえ
たら嬉しいね。



ももももトイプードル



あゆみだより

今回は、「あゆみ」に投句していた
だいた作品の中から、少しではあり
ますが、皆さまにご紹介させていた
できます。

レンゲ咲き 幼き頃の 髪かざり／ヒロエ

ひな壇や 白寿迎えて また嬉し／尚

うろこ雲 瀬戸はるかまで 人想う／青い帽子

縮景園 妻と一緒に 菊花展／勲夫

真実の愛 それこそ世界の 平和である／千里

亡き妻の 呼ぶ声きこえる 三回忌

あの世があれば 又あふ日まで／清人

春の花 椿の花の 咲き始め／文子

窓際の 上から眺める 静かな街／美千恵

「あゆみ」は、皆さまから寄せられた短歌や俳句を集め、一月、四月、七月、十月の年四回発行しており、各病棟に掲示してあります。

患者さま、入所者さま、利用者さまはもちろん、ご家族さまからの句もお待ちしておりますので、

素敵な一句ができましたら、ぜひお近くのリハビリスタッフまで教えてください。ご意見箱からの投句も可能ですので、ご利用ください。

ナカムラ病院リハビリテーション科

作業療法士 矢野ちさと

作品展

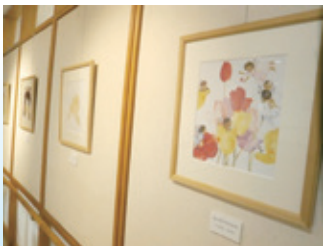
複製画による
いわさきちひろ・
武永槇夫

このたびPIAギャラリーでは、当初予定していた作品展を変更しました。本来ならば、美術家・花野均さんの細密の写実画と五日市高校の生徒さんたちの美術、書道作品で、たくさんの「元氣」や「力」をもちょう予定でした。ところが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でやむなく延期することになりました。

休校、休部が続く、高校生の皆さんは、作品制作に当てる時間が確保できなくなりました。また当院は原則「建物内立入禁止」としました。仮に作品を展示しても、通常どおり面会者や外部から訪れる方に楽しんでいただくことができません。

そこで、

病院・施設の中で働く職員の方々に、当法人が所蔵する複製画を展



第二展示コーナー
4月24日～

いわさき ちひろ作品展 (30点)



第一展示コーナー
5月11日～

武永槇夫作品展 (40点)

示することになりました。

感染の終息が見通せず、世の中が暗くなりがちな今、子どもを育む絵本画家・いわさきちひろさんのほころとする作品で気持ちや表情が少しでも和らげばと願い、展示しました。また、今年は、緊急事態宣言の発令下、桜の季節が終わりました。イベントが次々に中止となり、多くの人たちがマスク姿で足早に花を眺める光景を目にしました。せめて、気分だけでもゆつくり春を感じていただきたいと、武永槇夫さんの作品を展示しました。

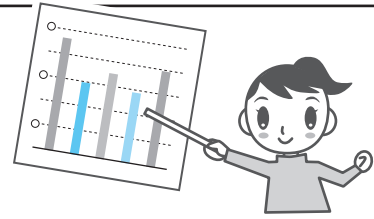
複製画にもいくつかの大きな魅力があります。やはり、世界にひとつしかないオリジナル作品には及びません。一日も早くコロナ禍が落ち着き、原画の良さを多くの方と分かち合えることを願っています。

PIAギャラリー担当

事務次長 中田 英雄

令和元年度

利 用 実 績



昨年度の、各施設における実績をご報告いたします。
 「病床利用率」については、令和元年度1年間を通してのデータです。
 「要介護度分布」および「平均介護度」は令和元年度1年間の平均を示しております。

	ナカムラ病院 (介護医療院)	ひいろ (介護医療院)	まいえ (介護老人保健施設)	陽光の家 (介護老人福祉施設)
病床利用率	92.8%	95.5%	89.3%	96.9%
要介護度分布				
平均介護度	B2病棟 (医療保健療養病棟) 4.22	4.25	2.32	4.15

全国の介護保険3施設の平均介護度は？

- 介護療養型医療施設 ▶ 4.35
- 介護老人保健施設 ▶ 3.21 (厚生労働省 H29年10月1日)
- 介護老人福祉施設 ▶ 3.94

A3・B5・B6・B7病棟 3.00 (認知症治療病棟)

認知症治療病棟であるこの4病棟については、必ずしも介護度が介助量を反映しているとはいえません。

心理検査について

当院では「長谷川式簡易認知評価スケール」をはじめとする神経心理検査(認知機能検査)を行っております。複雑な認知機能のどの部分に困難が生じているか、どういった能力は保たれているか明らかにすることにより、その人らしく生活できる環境を整える一助としています。詳しくは公認心理師、臨床心理士までお問い合わせください。

ドクター紹介



ナカムラ病院 医局
にし かわ ます とし
西川 益利

略歴

三次市の生まれ。
三次高校から山口大学(大学院)
札幌医科大学精神科(研究生)

Q. 専門分野について教えてください。

A. 老年内科が専門です。
認知症、心不全、腎不全、繰り返す肺炎など高齢者に多いさまざまな症状に対する包括的な診療をおこなっています。

Q. 医師を志したきっかけをお聞かせください。

A. 実は医師ではなく、ロケット打ち上げの仕事をしたかったんです。

Q. 診療をおこなう上で大切にしていることを教えてください。

A. 高齢患者さんの状態を総合的に判断し、その状態に相応した治療を行うこと。さらには介護上の問題点にも幅広く対応することを重視しています。

Q. オフタイムのリフレッシュ法をお聞かせください。

A. 水泳とテレビゲームです。



ナカムラ病院 医局
かじ かわ ひろ き
梶川 広樹

略歴

広島大学、安芸太田病院、府中みくまり病院、リフレまた病院、なごみクリニックを経て、平成二十九年より現職。

Q. 専門分野について教えてください。

A. 専門は精神科です。
これまで統合失調症、躁うつ病、神経症、パニック障害、パーソナリティ障害、認知症などの診療に携わってきました。

Q. 医師を志したきっかけ、診療をおこなう上で大切にしていることをお聞かせください。

A. きっかけは高校生の時、自分が腎臓疾患に罹ったことが大きかったかなと思います。診療に関しては、「患者さんの価値観やプライドを保ちながら、その方の個性をいかに生かしていきけるか」を大切にしています。また患者さんだけでなく、家族とのコミュニケーションも本当に大事だと思っています。

Q. オフタイムのリフレッシュ法をお聞かせください。

A. 野球・ヨーロッパサッカーなどのスポーツ観戦、音楽を聴くこと、釣り堀、旅行、気の合う仲間とのくだらない話などでリフレッシュします。とくに今は息子の野球チームの試合や練習を観に行くのが楽しく、夢中になっています。

（令和元年度 実習生受け入れ実績）

昨年もナカムラ病院・介護老人保健施設まいえ・特別養護老人ホーム陽光の家では、さまざまな職種の実習生を受け入れました。詳しい受け入れ状況は下の表のとおりです。現場でしか学べない多くのことを吸収し、将来に活かして頂きたいと思えます。

(学校名は各職種五十音順)

ナカムラ病院・まいえ

看護師実習

山陽看護専門学校	20名
広島文化学園大学 (老年看護学実習)	162名
広島文化学園大学大学院 (認知症看護エキスパート実習)	4名

理学療法士実習

広島都市学園大学	2名
広島保健医療専門学校	1名

作業療法士実習

IWAD環境福祉専門学校	1名
県立広島大学	2名
広島大学	1名
広島都市学園大学	1名

管理栄養士実習

比治山大学	2名
広島女学院大学	4名

陽光の家

介護福祉士実習

IGL医療福祉専門学校	2名
トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校	2名
広島福祉専門学校	1名

相談援助実習

リソースカレッジ広島	2名
------------	----

外来の感染対策について

令和二年三月六日に県内で初めての新型コロナウイルス感染者が確認されました。その後も相次いで感染者が確認され、佐伯区内においては、クラスターが発生したこともあり、患者様の中には感染に対する不安から、医療機関への受診を躊躇される方も少なくないと聞いています。

当院の物忘れ外来では、厚生労働省より発出の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」に従い、「通院・受診による不特定多数の人への接触機会を減らすことで感染拡大を防止し、患者様の不安解消を図る目的で、五月十一日より五月二十九日まで臨時的に電話診療の体制を取らせていただきました。対象となる患者様は、「通院中、かつ病状が安定している方」に限定させて頂き、初診の患者様は「お急ぎの方のみ」対面診療での対応とさせて頂きました。

電話診療では、医師から電話で患者様の現在の状態や経過をお伺いし、必要に応じて薬の処方を行います。薬は宅配又は当院駐車場

の受け渡しとさせて頂きました。

対面診療の際は、患者様、ご家族のご協力のもと、来院時はマスクの着用・手指消毒・検温・体調確認をさせて頂いた上、診察室は「二パーテーション」を設置し、常時換気を行う等の感染症対策を実施しています。

今後も国の基本方針や県内の新型コロナウイルス感染症状況等を踏まえて、随時電話診療の体制を取らせていただきますので、ご理解ご協力の程お願い致します。

そして、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

ナカムラ病院

副看護部長 中村 智子



オンライン面会の実施に向けて

政府が推奨する「不要不急の外出を控える」「三密（密集・密接・密閉）を防ぐ」「テレワーク」感染症拡大防止への呼びかけが行われていますが、私たち介護の現場では、「密接」にかかわらなければ入所者さまの生活を守ることができません。

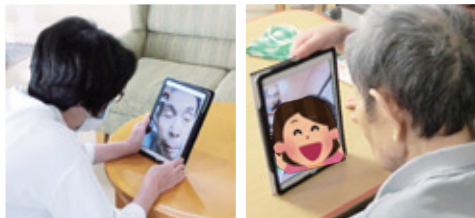
また、高齢者や基礎疾患を抱えている方が感染すると重篤化すると言われていますので、集団生活の中の感染拡大というリスクもあります。今まで「当たり前だった日常」が制限され、コロナウイルス感染拡大防止の為に「外出制限」「家族との面会制限」をせざるを得ない状況になり、入所者の方々やご家族様の精神的な負担が出ているのが実情です。そこで陽光の家ではいち早く、その精神的な負担を少しでも緩和できるように「オンライン面会」を取り入れることに致しました。その内容は無料通話アプリを入れ、タブレットの画面越しに今のご様子をテレビ電話で行う形です。面会者は直接施設にお越しいただき、面会スペースからご本人の居住スペースを繋ぐ

ものです。実際にオンライン面会を行った家族の方々からの感想は「こういう形でも実現していただきありがとうございます。」「まだ直接は会えないけど、本人の顔が見ることができて安心しました」「最新ですね」など反響は予想以上に大きいものでした。

今までに経験の無い感染症に直面している状況で私たちは、なにが「正解」なのか分からないですが、制限がある中でも何をしたら実現できるのかということをお考えしながらも試行錯誤しながら対応していきたいと思っております。

特別養護老人ホーム 陽光の家

生活相談員 佐々木雄治



ナカムラ病院・介護医療院ひいろ・介護老人保健施設まいえ・グループホーム っほいでもオンライン面会を始めております。

コロナウイルス感染防止の為自粛生活が続き、利用者の皆さんも退屈気味…
そこでケーキ作りに挑戦しました。スポンジを焼き、好きなように、好きなだけデコレーションして自分だけのケーキを作りましょう！「あなたのは美味しそう」「もう少し飾りを多くしよう」とそれぞれが力作が完成です。

つばい こぼれ話

自分だけのケーキ



「紅茶と一緒にいただきながら、私のが一番美味しそうにできた」と喜んでいただきました。

グループホーム つばい
介護職 鶴原友希菜



栄 養 の お 話

夏バテ対策で暑い夏を乗り越えよう

暑い季節は、「体がだるい…」「食欲がない…」など夏バテかな？と感じる事がありますよね。夏バテとは医学的な用語ではなく、高温多湿な日本特有の体調不良の総称のようです。

そこで、今回は夏バテ予防についてお話させていただきます。夏は、素麺などの炭水化物に偏り、栄養バランスが崩れがちです。そんな時には太陽をしっかりと浴び、ビタミン・ミネラルを多く含んだ夏野菜がオススメです。また、食欲がない時は生姜やニンニクなどの香味野菜、カレー粉などの香辛料も効果的です。調理の際に電子レンジ等も活用し、時短にするのも暑さ対策には効果があります。

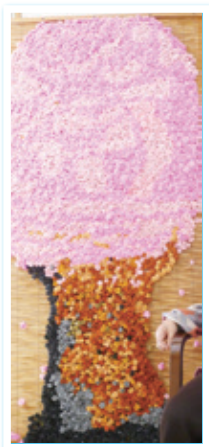
夏バテ知らずで、暑い夏を元気に乗り越えましょう☆



栄養士 岡野 玲菜

陽 光 ふぁみりー

季節を感じる事ができる環境作り



陽光の家デイサービスは新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、陶芸教室、書道、お気楽体操等の活動が中止となりました。また、外出自粛ということもあって「外に出かけるのは怖いから、家でじっとしてるよ」という利用者様の声も多く聞かれました。満開の桜や、外で元気に泳ぐ鯉のぼりも今年は見られなかった方も多いと思います。

そこで、陽光の家デイサービスで



は少しでも季節を感じてもらえたらと思い、利用者様と一緒に一八〇センチの満開の桜の木や、ペットボトルのキャップで作った鯉のぼり、折り紙でアジサイの花を作成しました。出来上がった作品は、デイサービスに飾りました。

利用者様が側を通った時に「ここで桜が見られてよかった。来年は本物の桜が見られるといいね。」と言われた言葉が印象的でした。来年の桜の花が咲くころには何の不安もなく外出する事ができるようになっていることを願っています。

緊急事態宣言は解除されましたが、まだまだ日常生活に制限がある中で、陽光の家デイサービスでは少しでも利用者様が明るく笑顔で元気になる環境を提供して行きたいと思えます。

陽光の家 通所介護事業所
相談員兼介護職 網本 忠文

お花をいただきました

六月五日に広島市中区東平塚町にある『はな平』さまからきれいな花をたくさんいただきました。花は当院の各病棟や受付、介護老人保健施設まいえ、グループホームつばい、特別養護老人ホーム陽光の家に飾らせていただき、その華やかさに患者さま、入所者さま、職員とも元気をもらいました。新型コロナウイルス感染症対策のため、全国的に外出自粛や病院・施設

設の面会制限が行われるなど、明るい話題がない状況が続いている中、とても励まされました。まだまだ気が抜けない状況ですが、引き続き一丸となって頑張っていきたいと思えます。心温まるご寄贈を賜り、心からお礼申し上げます。

地域連携センターデイケア部門

主任 中森 一宏



ありがとうございました

新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、コイン通り商店街振興組合組合員SAKURAYAさまから当法人へマスクのご寄贈を賜りました。温かなお心遣いに職員一同、深く感謝いたしますとともに心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と、皆様のご健勝をお祈りしております。



保険証提示のお願い!

被保険者証の更新について

後期高齢者医療被保険者証の更新時期となりました。有効期限が七月三十一日までとなっております。新しい被保険者証がお手元に届かれません。負担割合等変更がないか確認をさせていただくため、新しい被保険者証を病院窓口へご提示していただきますようお願いいたします。

また、更新時期にかかわらず住所変更の際にも提示をお願いいたします。

ナカムラ病院

医事課 山崎 望

編集後記

運否天賦。昨年の夏に、今の世界の有り様を想像した人が、果たしてどれほどいたでしょうか。「未来とは不確かです。予測不能なもの」。私たちはあらためて、そんな現実を突きつけられたような気がしてなりません。

古代ローマの哲学者セネカは、『運命が許す間、喜々として生きよ』との、示唆に富む名言を残しています。

先知れぬうたかたの世に身を置いているからこそ、翻弄されながらもしなやかに、そして、今この瞬間を大切に、まさに「喜々として」日々過ごす工夫をしていきたいものです。

(K)